

江戸浮世絵を読む



[江戸浮世絵を読む 下载链接1](#)

著者:小林忠

出版者:筑摩書房

出版时间:2002年04月

装帧:

isbn:9784480059437

本の内容

急速に発展していく新興の大都市・江戸。浮世絵はその自由な気風の中で、庶民の娯楽として生み出された。やがて、豪商や大名にいたるまで、あらゆる階層の人々に楽しめるようになってゆく。当世きってのメディアであり、最新流行を伝える刺激的な江戸土産であり、豪商の集まりを盛り上げる座興の具であり、時に借金で首の回らぬ大名からの金貸しへの下賜品ともなった浮世絵。それは、繁栄し爛熟した社会の経済・流通・生活、そして喜怒哀楽の縮図ともなっている。浮世絵で読む闊達な江戸の全姿。

目次

第1章 浮世絵とは何か（不易よりも流行

肉筆画よりも版画 ほか）

第2章 誰のための浮世絵だったか（庶民にとっての浮世絵

浮世絵好きの貴人たち ほか）

第3章 浮世絵は何を描いたか（多様な主題

古典の変奏 ほか）

第4章 浮世絵はいかに表現されたか（版画制作のシステム

肉筆画の工房制作 ほか）

作者紹介:

小林 忠（コバヤシ タダシ）

1941年、東京都に生まれる。東京大学大学院修士課程修了、美術史学専攻。名古屋大学文学部助教授、東京国立博物館情報調査研究室長などを経て、現在、学習院大学文学部教授、千葉市美術館館長を務める

目录:

[江戸浮世絵を読む 下载链接1](#)

标签

日本

评论

[江戸浮世絵を読む 下载链接1](#)

书评

[江戸浮世絵を読む 下载链接1](#)